

隕石班メンバーによるうつしの祭の感想

隕石班①さん

僕はうつしの祭において隕石班で発表しました。

良かったことは本番でもはっきり発表できたことです。僕は喋るのが苦手なので、うつしの祭の本番でもはっきりと発表できたので良かったです。

頑張ったことは自分が写真担当だったので他の人より書くことが少なかったけどできるだけ時間を長くすることを頑張りました。

工夫したことは双眼顕微鏡から見えているものを撮るときに、どうしたら良くはっきりと見えるか、などを工夫して発表に使った写真を取りました。

来年はゆっくりと発表して聞き取りやすいように発表しようと思います。

隕石班②さん

初めてうつしの祭で、最初は何をすればいいか全然わからなかったけど、先輩たちと一緒に調べていくうちに自分は何について調べたいのかがわかってきました。そこからは調べたり、顕微鏡で観察するのがすごく楽しくなっていました。私は顕微鏡で観察することが少し苦手でしたが、観察していくうちに慣れてきてすぐに観察したいものがすぐに発見できるようになりました。そして本番に向けて、スライドや原稿づくりをしました。その時も先輩に助けてもらって作ることができました。最初は微隕石を探していましたがなかなか見つからず、探しているときに透明な石を見つけてとてもきれいだったので透明な石について調べることにしました。来年はもっと深くまで調べて、班の人と協力していきたいです。

隕石班③さん

隕石班として小学校や中学校の屋上に行って微隕石がないか探しました。それでも、なかなか見つからなく大変でした。スプーンで屋上にあった砂や水たまりの中に入っている砂をかき集めて双眼顕微鏡で観察をしました。そして、練習を重ねセリフを噛んだところは何回も練習をしました。そしてうつしの祭の本番になり、ハキハキと発表をしました。がんばったことはみんなに分かりやすく、大きな声で言葉をしっかりと伝えました。緊張したけれど落ち着いて発表することができたと思います。来年の発表するときは新しく入ってくる一年生のお手本になれるように堂々と発表ができるように頑張りたいと思います。

隕石班④さん

私は、総合的な学習の時間では、隕石班として活動しました。去年の活動を活かして、小中学校の屋上へ行ったり、双眼実体顕微鏡を用いたりするなど、様々な工夫をして調べることができました。また、スライドを作る際には事実を並べるだけでなく、仮説や考察を含めることを意識して、作ることができました。発表練習では、読むスピードやはっきり話すなど、聞き手が聞きやすい発表をすることを意識しました。特に声量や話すスピードに気をつけました。うつしの祭当日を迎えたときはとても緊張しましたが、今まで練習してきたことを思い出しながら行うことができました。照明の操作は他の学年と共に行うため、片方が操作できないときはもう片方が操作するなど、協力しながら行うことができました。

今年のうつしの祭は昨年と違い、生徒が中心となって行ったため忙しい日々を送ってきましたが、無事に終わってよかったです。私達は今年のうつしの祭が最後となるため、今回のうつしの祭で浮き彫りとなった課題をしっかりと引き継ぎ、来年のうつしの祭に活かしてもらいたいです。

隕石班⑤さん

昨年に引き続き隕石について調べました。去年は隕石を見つけることができなかったため今年度は隕石を見つけたいという思いで調べました。隕石らしきものを顕微鏡で見ることができたので来年度は隕石と断定できるものを見つけたいです。

隕石班⑥さん

自分に興味があることを調べることができて嬉しかったです。話すときぼそぼそしてしまったので来年ははきはき話せるようにしたいです。去年と引き続き石英のことを調べられて嬉しかったです。来年はもっと詳しく調べたいです。私は実行委員になるのが初めてですごく緊張していました。けれど仲間と助け合うことができたので良かったです。